



<2025 (令和7) 年度>

Kitakyushu
Action!
動かせ、未来。北九州市

商圈人口140万人 九州第2の都市 北九州市の中心“小倉都心部”に出店しませんか？

商店街テナントリーシング実行委員会
魚町商店街振興組合／北九州市産業経済局 サービス産業政策課



商圏人口140万人 九州第2の都市 北九州市の中心“小倉都心部”に出店しませんか？

北九州市長

武内 和久



北九州市は、1901年、官営八幡製鐵所の操業以来、「ものづくりのまち」として発展し、日本の高度経済成長を支えてきました。

また、大都市でありながら、長く美しい海岸線や緑豊かな山々など、豊かな自然に囲まれ「遊ぶ」「観る」「食べる」がぎっしり詰まっています。さらには、空港、新幹線、モノレールなどの交通インフラが揃い、通勤・通学、買い物など、どこへ行くにも便利な公共交通機関が充実したコンパクトなまちです。

このたびの事業の対象となる小倉都心部は、北九州市の中心市街地であり、近隣市町村や広域からの集客も含め、有効商圏人口が140万人を超える地域です。買い物客が多く行き交う商店街の周辺には大型商業施設も立ち並び、活気にあふれています。

このように、北九州市には、充実した都市インフラ、都会と自然と食の調和したまちの魅力、広域からの集客、そして、熱い人情とまちへの愛着を持つ市民の皆さまといった、数えきれないほどの魅力があります。

市全体が一丸となって、これらの力を有機的につなげ、さらなる成長と「稼げるまち」の実現を目指しています。

ぜひ、北九州市に出店していただき、この魅力を体感してください。

皆さまの新たなビジネス展開を全力で応援させていただきます。

商店街テナントリーシング実行委員会委員長
魚町商店街振興組合 理事長

梯 輝元



北九州小倉は、古来より長崎街道をはじめとする五街道の起点であり、その中心市街地の魚町商店街は、江戸時代の魚河岸を起源に持ち、1956年に日本で初めて公道上にアーケードを建設した先進的な商店街です。公募したアーケードの愛称は、4000通以上の応募の中から「魚町銀天街」と名付けられ、全国に広まる〇〇銀天街の発祥の地となりました。JR鹿児島本線、日豊本線、西日本・九州新幹線小倉駅の直下にあり、北九州モノレール沿いの約400m、150店舗の広域型商店街です。アミュプラザ小倉、セントシティ、井筒屋、リバーウォーク北九州などと小倉中央商業連合会を形成して、全国でも珍しく大型店と商店街で共同の販促事業、イベント、プレミアム商品券の販売などを行っています。

魚町商店街のメインテーマは「Action!」の掛け声のもと「先進的な取り組みで来街者の利便性・満足度を増し、エリア価値を高める」というものです。単なる品揃えや顧客対応、老舗であることの優位性などを追及するだけでなく、全国初のリノベーションまちづくりやSDGs商店街、電子マネーの普及、消費免税カウンターの導入、魚町Paychaなど先進的な取り組みを続けてきました。その結果、街内歩行者通行量も次第に増えつつあります。

コンパクトシティや都心回帰の流れを受けて、魚町商店街内外に再開発やマンション建築の動きが多数見られます。魚町商店街は、リノベーションまちづくりやSDGs商店街で数々の全国的な賞を受け、自治体、商工会議所、修学旅行生の視察が後を絶ちません。また、先進的な取り組みに熱心だということが全国的に知られているため、電子マネーや免税カウンターなどの実験的な取り組みは、まず魚町商店街からスタートしようと各企業からの売り込みも多数あります。

北九州市内及び近隣市町村では、魚町商店街に行くことを「まちに行く」と称しています。南にある「北九州の台所」とも呼ばれる旦過市場とともに北九州市のみならず福岡県全体でトップの商店街エリアとして知られています。北九州市立大学をはじめとする北九州市の5大学と連携して「WeLove小倉協議会」というまちづくり団体を形成し、まちゼミ・清掃活動・コンシェルジュ活動などを行い、広く市民から愛されています。その証拠として、2年続けておきた旦過市場、魚町商店街の火災では、その復興支援募金がそれぞれ6000万円規模で集められ、ガレキ撤去費用は民間支援のみで賄なわれました。

シャッター商店街と呼ばれる衰退した商店街が全国的に多い中、若者の集う街、活気あふれる魚町商店街に出店してみませんか。皆様の出店、仲間入りを心からお待ちしています。